



八巻 誠



(前編に続く)

さくら株式会社に入社以来、実に様々な現場に立って来た八巻誠。立地も規模も多岐にわたるが、その一つひとつが思い出深い案件だ。中でも印象に残っているのは、2021年9月から2022年5月にかけて携わった千葉県の現場。広栄化学株式会社の化学プラントである。これまでにさくらが手がけてきた中で、最も大きな規模の現場ということ、いつも以上の緊張感を持って作業はスタートした。

メンバー全員の心を一つに

「人が増えれば増えるほど、その管理は大変になります。適材適所な人材配置はもちろん、チーム編成にも目を向けなければなりません」。

常に心に置いているのは、「作業するメンバーの負担が少しで

も軽くなり、集中して取り組める環境をつくりたい」という思い。

そんな現場を実現させるために、半年以上にわたる工期中、欠かさなかった取り組みがある。1日の作業が終わって帰宅する際には、必ず図面を持ち帰ったのだ。マンスリーマンションで図面とらめっこし、「明日はこの箇所をこのチームが担当する」「その次の日は、この箇所に着手する」と、数日先の作業内容や注意点をノートにびっしり記入。内容はメンバーたちとも共有し、自分自身も積極的に現場に立った。休憩時間を削って作業を進めることも日常茶飯事。そんな八巻の姿勢は、ともに働く仲間たちにも大きなモチベーションを与え、現場全体が一つとなって同じ目標へと進んでいったという。

一人ひとりの性格や得意分野をしっかりと見極めて人員配置を行うが、すべてが順風満帆に進むわけでは決していなかった。現場の進捗

状況が思わしくなければ、工期の途中で配置換えを行ったり、チーム編成を変えたりすることも珍しくはないという。そんなときにも、文句もいわず嫌な顔もせず指示に従い、それぞれの場所での力を尽くしてくれる仲間たちは、八巻にとって非常に心強い存在だった。

心に残る、専務からの言葉

長い工期も終盤を迎え、ようやくゴールが見えてきた頃。ともに現場入りしていた専務の千葉より一足早く、八巻は仙台へ戻る運びとなった。忘れられないのは、見送りにきた千葉からかけられたこんな一言だ。

「お前のおかげで助かった。よくやった。ありがとう！」

この瞬間の喜びは、今でも鮮やかに心に焼きついている。普段は軽々しく褒め言葉を口にしない千葉だからこそ、その言葉には

家族と趣味に支えられ、さらなる高みへ

並々ならぬ重みがあったのだ。大きなトラブルもなくメンバーたちをまとめ、仕事を進められた達成感も相まって、思わず目頭が熱くなった。

「規模が大きい分、困難もあり、紆余曲折もありましたが、大きな自信にもつながった現場です」。

忙しい毎日の中、支えとなるのは家族の存在。早朝6時に家を出ることもあるが、早起きした子どもが玄関先で「いつてらっしゃい、がんばってね！」と声をかけてくれると、体中にエネルギーが満ちてくるような感じがする。休日には、趣味のバイクで風を切って走る。ズラリと並んだ5台の愛車を前に、「今日はどれに乗ろうか」と考えるのも楽しいひとときだ。

16歳の若さでこの業界に飛び込み、24歳で起業。その後も一歩



ずつ歩みを進め、ふと気づけば、20年以上の月日が経っていた。それでも八巻は、「今でも毎日が勉強」なのだ謙虚に語る。新たな発見は尽きず、仕事の奥深さをひしひしと感じているという。

「ミスのない丁寧な仕事によってお客様との信頼関係をより一層強め、会社全体で上へ上へと進んでいきたいと考えています。高

橋社長がいつでも上を目指す姿を見て、私も『さくらをもっと良い会社にしたい』と常々思っているのです。仲間たちとのコミュニケーションをしっかりと取り、離職者を減らすことも目標の一つですね」。

そう語る八巻の眼差しは、はるか未来を見据えている。これからさくらにとって必要不可欠な存在として、会社の成長を支えていくに違いない。

企業情報

設立年：2012年4月

年商：11.6億円

※2022年3月決算時点



八巻 誠さんってこんな人!

巻頭インタビューを飾った八巻さんについて、縁のある2名の方にお話を伺いました!
元気いっぱいの明るい人柄が評判の八巻さん、愛されキャラとしての一面も強いようで……?



メッセージ
これからも大きい現場を抱えることがあると思いますが、千葉の現場での経験を思い出して、今までどおり突っ走ってください!

東海営業所 伊藤 寿雄さん
いとう ひさお
所長

八巻さんを一言で表すと……

元気印
いつも元気いっぱい、ハキハキした物言いが素晴らしい! 毎日の全体朝礼でも、現場作業員がいる中で物怖じせず大きな声で話しています。また、強い東北なまりも誠の愛されポイントです(笑)

思い出エピソード

誠が職長をしていた千葉の現場では、責任感の強さゆえ、作業が思うように進まず落ち込んでいる姿も目にしました。「みんなを信用して、任せるところは任せてみる」とアドバイスしたところ、現場が上手く回るようになりホッとしたことを覚えています。

八巻さんとの関係性

上司と部下の関係です。名前を呼ぶときは、お互い下の名前前で呼び合っています! 4年前に誠が担当していた大船渡のバイオマスの現場に応援に行ったのが最初の出会いで、昨年は7か月ほど千葉の広栄化学の現場と一緒に仕事をしました。

八巻さんとの関係性

私の後輩です。誠とは8年ほど前に現場で知り合い、当社で再会しました。

八巻さんを一言で表すと……

真面目

休憩と言われても、周りを見て判断するので、誰よりも遅く上がります。また非常に謙虚で、言葉遣いも丁寧。総じて、とても信頼しています。そして大きい現場と一緒に仕事することも多いのですが、失敗している姿を見たことはありません! 誠がいなかったら現場が回らないのではと思うほど、私には欠かせない存在です。いつもこのようにべた褒めしています(笑)

メッセージ
毎回、現場をまとめてくださりありがとうございます。これからは自分の現場を大事にして、頑張ってください!

配管施工部 千葉 真也さん
ちばしんや
取締役 専務



思い出エピソード

2021年9月から7か月にわたって行った、千葉の広栄化学での現場のときのこと。やはり誠がいたら、現場が締まることを実感しました。誠が指示を出すと皆さんキビキビと動くので、現場を率いるパワーを感じました!



11月がお誕生日の方です。ぜひ、皆さんでお祝いしましょう!

11月22日 小座間 拓也さん

おすすめの理由や思い出

昨年、気仙沼付近で工事した帰りに、偶然入った居酒屋で何気なく注文したカツオは別格においしく感じました。いつもは石巻周辺で食べており、気仙沼で食べたことはあまりなかったので、思い出に残っています。今年は気仙沼付近の仕事の予定がなく、まだありつけていないので、偶然でも仕事が入ってくればうれしく思います(笑)



X線検査
きど まさひで
木戸 正秀さん

あなたにとって、〇〇の秋と言えば?

「味覚の秋!」

おすすめの食べ物

スーパーのパックで売っている戻りカツオや、サンマの刺し身、銀鮭の刺し身です。やはりおいしいですから、どなたでも好きなのではないのでしょうか。ごはんのおかずとして、秋によく食べています。サンマは焼くのが一般的かもしれませんが、刺し身は焼くよりおいしいのでおすすめです!



教えて! あなたの〇〇の秋

そろそろ秋も深まる頃。夜が長くなり、涼しい季節が訪れましたが、皆さんは秋にどのようなイメージをお持ちでしょうか。今回は木戸さんと小座間さんにお伺いしました!

あなたにとって、〇〇の秋と言えば?

「ズバリ、芸術」

なぜなら、バンクシーという芸術家を好きになったのが秋口だからです。数年前、ニュースでバンクシー展について報道していて、「なんだろう?」と興味を持ったのがきっかけでした。残念ながらなかなか地方でのバンクシー展がなく、実際に作品を観たことはありませんが、ネットや写真で拝見したことはあります。

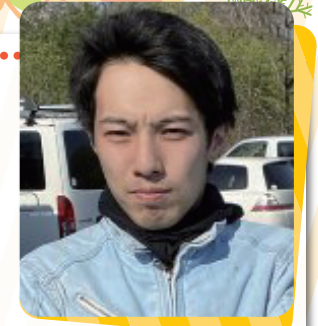
お気に入りの作品

好きな絵は、「愛とお金」です。賛否両論あると思いますが、お金より愛のほうが大事というメッセージがとても腑に落ち、家に飾っています。また、「花束を投げる男」など、世界平和を望む絵が多いことにも感銘を受けました。ハマった当初は日常的に戦争の報道があったわけではありませんが、ロシアとウクライナの戦争なども起こっている現在にバンクシーの作品を見ると、響くものがあると感じます。



左から、「愛とお金」、「花束を投げる男」、落札直後に額縁内の仕掛けが作動し断裁された「風船と少女」

配管
おさま たくや
小座間 拓也さん



印象的なエピソード

2018年10月5日、約1億6000万円で落札された「風船と少女」という作品がバンクシーの仕掛けによってシュレッダーにかけられました。なんと、落札後に謎の装置が動き、絵が断裁されたのです。バンクシーの本心はわかりませんが、「お金より大事なものがある」ことを表現したと感じました。こちらも議論を呼ぶ出来事でしたが、胸を打たれました。